



2022年1月28日

各位

上場会社名 興 研 株 式 会 社
 代 表 者 代表取締役社長 村川 勉
 (コード番号 7963 JASDAQ)
 問 合 せ 先 取締役経理部長 長坂 利明
 (TEL 03-5276-1911)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

直近の業績速報値を織り込み、2021年12月期の連結業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2021年12月期連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,600	百万円 680	百万円 650	百万円 640	円 銭 127.85
今回発表予想(B)	10,203	945	922	862	172.27
増減額(B-A)	603	265	272	222	
増減率(%)	6.3%	39.1%	41.9%	34.7%	
(ご参考)前期実績 (2020年12月期)	10,152	1,133	1,097	837	167.34

(2) 修正の理由

2021年12月期の業績予想については、コロナ禍の収束が徐々に進み医療機関向けの感染症対策用マスクの需要が減少する一方で、産業用マスクの需要回復を見込み算出・公表していましたが、変異株の発生によって感染者数の減少は一時的なものとなり、対策用マスクの受注・出荷数は期初計画を上回り、一方産業用マスクの需要回復は期初計画より遅れました。また、オープンクリーンシステム「KOACH」の販売は、オンラインによる個別営業が奏功し、大型機種受注を中心に増収につなげました。

これらの結果、売上高全体としては予想値に対して約6%増が見込まれ、前期実績も上回る見通しとなりました。

利益については、増収にともない予想値を全て上回る見込みとなりましたが、原材料費の値上がりによる利益率の低下により、営業利益・経常利益は前期実績には至りませんでした。親会社株主に帰属する当期純利益は、2021年3月18日付け「特別利益及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示のとおり、政府補助金2億60百万円を特別利益として計上したため、前期実績を上回る見込みです。

2. 配当予想について

(1) 2021年12月期配当予想

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
前回予想	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 25.00
今回発表予想	—	—	—	35.00 (普通配当 25.00) (特別配当 10.00)	35.00 (普通配当 25.00) (特別配当 10.00)
当期実績	—	0.00	—		
(ご参考)前期実績 (2020年12月期)	—	0.00	—	45.00 (普通配当 25.00) (特別配当 20.00)	45.00 (普通配当 25.00) (特別配当 20.00)

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとして認識し、安定的配当の維持及び向上を図ることを基本方針としており、これまで特別要因に伴い業績が大きく伸びた期は、特別配当という形で還元させていただいております。

2021年12月期の期末の配当予想につきましては、これまで普通配当25円としておりましたが、当期の業績予想及び財務状況等を勘案し、普通配当25円に特別配当10円を加えた1株当たり35円に修正いたします。

なお、本件につきましては、2022年3月開催予定の第59期定時株主総会に付議する予定であります。

(注) 上記の業績及び配当の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後の様々な要因により、予想値とは異なる可能性があります。

以上